

平成28年度
栗原市議会
議会報告会報告書

(平成28年10月26日～28日)

平成28年12月
栗原市議会

～ 目 次 ～

1	平成28年度議会報告会の開催状況	1
2	平成28年度議会報告会における意見・要望事項	2～18
(1)	[地区別、部局別] 質問項目一覧	2
(2)	栗原市議会関係	3～4
(3)	総務常任委員会所管関係	5～7
(4)	産業建設常任委員会所管関係	8～11
(5)	文教民生常任委員会所管関係	12～15
(6)	指定廃棄物の最終処分等に関する調査特別委員会所管関係	16～17
(7)	(仮称) 栗原市スポーツパーク計画に関する調査特別委員会所管関係	18

平成28年度栗原市議会議会報告会開催状況

1 開催日時等

開催日時	地区	会場	担当班	参加者数(人)		
				男	女	計
10月26日(水) 午後6時30分から	一迫地区	一迫総合支所	第1班	16	0	16
	高清水地区	高清水総合支所	第2班	6	0	6
	築館地区	市民活動支援センター	第3班	16	2	18
	若柳地区	若柳総合支所	第4班	11	1	12
10月27日(木) 午後6時30分から	栗駒地区	栗駒総合支所	第3班	23	4	27
	花山地区	花山石楠花センター	第4班	11	1	12
10月28日(金) 午後6時30分から	瀬峰地区	瀬峰総合支所	第1班	11	1	12
	志波姫地区	この花さくや姫プラザ	第2班	9	1	10
	金成地区	金成生涯学習センター	第3班	8	2	10
	鶯沢地区	鶯沢振興センター	第4班	13	0	13
計				124	12	136

2 班編成

第1班	第2班	第3班	第4班
高橋 渉	沼倉 猛	佐藤 範男	佐藤 千昭
菅原 久男	佐々木 幸一	石川 正運	三塚 東
瀬戸 健治郎	佐藤 勇	菅原 勇喜	高橋 義雄
佐々木 嘉郎	佐藤 久義	鹿野 芳幸	佐々木 脩
小岩 孝一	阿部 貞光	三浦 善浩	小野 久一
高橋 勝男	五十嵐 勇	濁沼 一孝	佐藤 悟
佐藤 文男	相馬 勝義		

平成28年度栗原市議会議会報告会〔地区別、部局別〕質問項目一覧

(単位：件)

部局名等	地区名										計
	築館	若柳	栗駒	高清水	一迫	瀬峰	鶯沢	金成	志波姫	花山	
議会	4	0	2	1	3	3	0	0	2	0	15
総務部	1	0	4	0	1	0	1	2	2	0	11
企画部	2	1	2	1	0	2	2	0	0	1	11
うち、スポーツパーク構想関連	(2)	(1)	(1)	/	/	(1)	/	/	/	/	(5)
市民生活部	1	1	3	0	2	0	0	2	3	1	13
うち、最終処分場・汚染廃棄物関連	/	/	(1)	/	(2)	/	/	(1)	(2)	(1)	(7)
建設部	0	0	0	0	2	0	1	0	2	0	5
産業経済部	2	2	2	1	6	3	2	4	2	2	26
うち、実証実験、汚染稲わら等関連	/	/	/	(1)	(1)	(1)	/	/	/	/	(3)
上下水道部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
教育部	1	3	1	0	0	0	1	2	0	0	8
医療局	0	0	0	0	0	2	1	3	1	1	8
計	11	7	14	3	14	10	8	13	12	5	97

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：栗原市議会 15件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	政務活動費を上手く使い、きちんとした質問と提言をしてほしい。なぜこのような質問をしているのかと皆が思うことがある。大切な税金である政務活動費と議員報酬である。行政にしっかりと立ち向かってほしい。	(要望のため回答なし)
2	議会の傍聴に行くと、行政側の答弁が強く、議員が情けない質問をしているときがある。一刀両断されることのないような質問をしてほしい。	(要望のため回答なし)
3	同じ質問を複数の議員がしているのでも、同じ答弁を聞くことになりおもしろくない。事前に質問を集め調整をし、議員に振り分けるなど、関連性を持たせた効率的な一般質問をするべきと思う。同じ会派の人でも同じ内容の質問をしている。質問の仕方も下手である。数字を聞くだけの議員もいるが、それで終わっている。はじめに数字を調べ、それを基にして質問をすべきである。	会派に所属する議員は会派内で質問を調整しているが、会派間での調整はいままでできていない。また、無会派の議員もいるので、そこでの調整も行っていない。議会としても、全員協議会などでそのような話しをしていかなければならないと思う。前向きに取り組みたい。
4	議員に望むのは、私たち市民目線の活動を第一に考えてほしいということ。市民ファーストの市議会であってほしい。また、最初に議会報告会に来たときはもっと人が来ていた。人が少なくなっているのは、議会に対する市民の信頼度の薄さだと思う。満席になるよう頑張してほしい。	(要望のため回答なし)
5	議会の委員会活動で、市当局に調査して意見を述べるとあるが、その結果の行政効果については、大いに疑問である。しっかりと、結果が出るようにすべきだ。	市当局に、しっかりと実行するよう申し入れている。最終的には、事業の執行権を持つ市長がどう扱うかにかかっているが、継続して調査が必要な場合には、更に調査し、再度提言している。
6	市当局に要望した方が良い質問がほとんどで、議員も市当局へ伝えるという回答の議会報告会になっている。議員では無理なことが分かっているが、生の声を聴くべく毎年参加している。そこで、例えば、議員の行動が市を動かしたという報告がほしい。議会報告会で質問された内容について、その後、どのように対応したのかという報告がない。次回の議会報告会や議会だより等でしっかり報告して、議会活動の見える化に努めてほしい。	議員も、この問題・課題については、どの部局で、どの常任委員会で、また議会全体で等、取り扱いや協議の方法について話し合っている。そのため、議会閉会後の調査活動なども行い、対応している。議会報告会特別委員会で検討し、市民に見えるような形で報告できるよう努力する。
7	栗原市の政務活動費は金額が少ないため問題ないと思われるが、昨今の政務活動費の不正使用の報道が頻発している状況をどのように考えているか。	1円であろうと1万円であろうと使用したものは使用したのである。良いことも悪いこともある。議会基本条例を策定した際、議会報告会で報告したとおり、政務活動費は1人あたり月25,000円、年間300,000円と決定したが、この額は、他の市議会の政務活動費を調査・研究して決定したものである。昨年報道されている他市議会のような不適切な支出は、現在も今後も絶対ない。さまざまな調査・研究を行って決定したものであり、内容はどこにも負けないもので、支出に際しても厳しい面がある。チェック体制も確立されており、どこに出しても恥ずかしくないものである。

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：栗原市議会 15件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
8	議会の情報を得るのは議会の中継と議事録だ。市民への情報の公表に力を入れていただきたい。	(要望のため回答なし)
9	政務活動費は今様々話題になっているが、栗原市の議員は有効に使われていると思う。今出た様な分りにくい課題について、政務調査費を使ってより良い議会活動をしてほしい。	栗原市議会は、富山市や仙台市の様な使い方はしていない。今後とも市民の負託にこたえられるような議会活動を進めてまいりたい。
10	昨年河北新報が報道した中で、議会報告会と市政懇談会を同時開催してはどうかとあった。市政をより豊かにするという意味では有効ではないか。是非同時開催をしてほしい。	(要望のため回答なし)
11	毎回たくさんの議員が一般質問を行っているが、言いつばなしでなく、4年間の中で請願や陳情、一般質問したものその後はどうなっているのかをしっかりと検証すべき。	広報編集調査特別委員会が市議会だよりをつくっており、同委員会でも検討していくべき内容と考えることから、ご意見を伝えたい。他の自治体ではそのようなことをやっているところもある。
12	政務活動費について、テレビ等でもいろいろ騒がれているが、宮城県議会でも不正があった。ある人から政務活動費は報酬の前に議員に渡されていると聞いたが、栗原市議会でもそうなのか。	議会事務局に来てもらえば、領収書など書類全てを閲覧することができる。他市のオンブズマンもそのようにして調べているものである。
13	議員定数の見直しについて、前回削減したのは人口減を考慮したものと思うが、次期選挙に向けて議員からの定数削減の声は出ていないのか。	議論にはなったが、結果として定数削減について今回は踏み込まないこととなった。前回30人から4人減らしたが、人口が減ったとしても一定程度の人数は必要である。議員としても市全体のことを考えて動こうとしているが、地域の声として地域の議員というのにも必要だという話もはる。そのようなことや時間的なことから今回は見送りになったという経過がある。議論を行っているのは事実である。
14	登米市と比較して、本市の議員報酬が高いのはなぜか。	本市は大崎市と比べ月額報酬が低い。過去の議会改革の検討のなかで報酬を引き下げたが、その際に会議出席時に支払われていた日当も廃止した。また、登米市は、月額報酬だけを比べると本市より低い。期末手当(ボーナス)の加算率や他の手当が高いことから、総体的には本市より高くなっている。
15	政務活動費は、これからも正確に使用されたい。	本市の政務活動費の制度は、他市より後発である。他市の状況を研究しながら制度化し、実費精算することで疑われることのないように使用している。

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：総務常任委員会所管 17件

1 総務部関係 11件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	<p>公共施設の活用状況はどうか。遊休施設は含まれているのか。実際に施設がどのくらい使われているか。議会として行政への働きかけはどうか。</p>	<p>利用状況などに応じた個別の計画をつくるため、現在、市で検討している。10町村が合併し類似施設が多くあるが、人口減少なども考慮しながら、管理方法も含め検討を進めていく。一つ一つの施設について、市が使用頻度など状況を調査し、どのようにするか検討していくものである。調査で基本的なベースができてから、議会にも示してもらいながら、議論をしていきたい。 文教民生委員会では、体育施設など関連する全施設について、利用状況などの調査を行った。報告では地域の方々の要望を聞いて対応すべきとまとめたが、具体的な数字はすべて当局から議会にあげさせている。</p>
2	<p>栗原市公共施設等総合管理計画の栗駒地区の対象施設数はいくらか。分からなければ、市役所のどの部に聞けばよいのか。</p>	<p>市からは、地区別の対象施設数に係る資料が提出されていないので、栗駒地区の対象施設数は分からないが、市全体では922施設である。また、市の財産を管理する担当部局は、総務部管財課である。</p>
3	<p>平成26年の国から通知に基づき、栗原市公共施設等総合管理計画の策定に着手したとのことだが、市としては、これまでにこのような計画を策定しなかったのか。 合併直後から計画を策定して、対応すべきではなかったか。議員がいる地域は進み、いない地域は置き去りにされるということもある。均衡よく進めてほしい。</p>	<p>これまでは、合併町村がそれぞれ持ち込んだ事業や、2度の震災による既存施設の耐震補強工事などに業務が忙殺された。今般、市全体の公共施設を、40年先を見据えながら、20年先までの具体的な計画を策定することは、初の試みであると理解している。今後の重要な行政運営の指針となるものである。</p>
4	<p>総務常任委員会の調査所見に「財政負担の軽減と平準化が実現できること」とあるが、この意味について、詳細に説明してほしい。 平準化というと、旧10か町村を一つに均すような意味に捉えてしまいがちだが、そうではないと理解してほしいか。</p>	<p>昨年度に、市全体の922の公共施設について、これまでの建築年度や建設経費の内訳、利用状況、修繕状況などの項目を調査した「施設カルテ」を作成した。このカルテを基礎に、今後40年先の公共施設の在り方や必要な経費を検討し、具体的には、その金額を計画的かつ継続的に負担することが可能かどうかを確定する計画となる。その意味で、平準化という言葉を使用した。 平準化については、水道料金を同額にするという平準化ではなく、あくまで、一定年度間の財政負担の平準化の意味である。</p>
5	<p>栗原消防本部の管轄範囲のうち、最も遠いところで消防車は何分かかるのか。例えば10分もかかる場合には、集会所等にAEDを設置すべきだ。 地区の納税組合長だが、水道料金や税金の未納額は何億もあると聞く。未納額等について、その詳細を市民に明示すべきだ。 最近、水道料金の未納者への督促通知の送付ミスがあり、謝罪文書が送致されてきた。しかし、どのような原因でミスが発生したのか、今後どのように対応するのか等が一切示されず、ミスの繰り返しが懸念される。詳細に説明すべきだった。</p>	<p>AEDの設置については、担当部局に伝える。 滞納状況については、市の広報等でお知らせしている。 水道料金の督促通知ミスについては、市政懇談会でも、厳しく話してほしい。</p>

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：総務常任委員会所管 17件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
6	<p>一迫地区は、旧小学校区単位でコミュニティ推進協議会があり、さまざまな活動をしている。こういう形で一迫地区は指定管理制度の中でうまくいっていると思う。</p> <p>学校の統廃合で廃校になった施設管理を業者に任せるのではなく、指定管理制度の中で地域に任せればコスト的にも、そして、きれいに地域が管理されるのではないかと。</p>	<p>提言として受け止めさせていただく。</p>
7	<p>公共施設等総合管理計画の説明があったが、議会報告会の会場である「振興センター」のトイレは、洋式トイレがないので整備して欲しい。何年かかるか。</p>	<p>公民館には「あったかトイレ事業」で整備した洋式トイレは設置されている。順次整備することになっているが、引き続き強く要望していくので、もう少しお待ちいただきたい。</p>
8	<p>公民館の老朽化が進んでいる。（総合支所だけは立派になっている。）</p> <p>市民により身近な公民館やみんなが使う施設は適切に維持管理・建設されるべきだ。（閉校になった学校の空き教室などの管理をして欲しい。避難所として使うかもしれないので。）</p>	<p>公共施設の建設や維持・管理については、市の全体計画の中で方向性が示された後、皆さんへお示しすることになる。今後、議会としても市の計画をチェックしていく。</p>
9	<p>行政区が橋を挟んで二つに分かれている。水害の多い場所に集会所があるので避難所を考えて欲しい。</p> <p>津久毛小学校がなくなり、公民館もなくなると思う。このままでは、行政区解体を覚悟しなければならない状況であるが、せめてこの地に旧役場などがあったことを示す碑などを設置していただきたい。</p>	<p>持ち帰り、市当局へ伝える。</p>
10	<p>公共施設587,000㎡とは何を指しているのか。</p> <p>市の公共施設は、使われていないものがある。少子化が進んでいるが、活用をどうするか。</p>	<p>市の庁舎、体育館、学校、公民館など公的な建物を言う。10町村の合併であることから非常に多くなっている。</p> <p>学校統廃合で使われなくなった学校などの施設は、地元で活用したり解体するなど、必要に応じて検討されている。</p>
11	<p>貴重な税金が使われていることから、完了した事業を職員や議員はよく見回るべき。</p>	<p>意見として伺う。</p>

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：総務常任委員会所管 17件

2 企画部関係 6件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	一人暮らしの高齢者からの相談だが、4月から市民バスの運転手が変わり、これまでは家の近くまで来てもらっていたが、これからはできないと言われた。コースは、若木から永洞へ、そして鳥沢を廻るもので、新しいコースどおりの運行とのことだが、従前どおり、何とかならないか。	担当部局に伝える。
2	市民バスは、第3セクターが運営していると思うが、人が乗っていない空のバスを見かけることがあり、運転手が気の毒に感じる。業者の負担も大きいのではないか。	市民バスは、スクールバスも含め入札に付し、バス会社へ業務委託している。なお、一迫地区のデマンドバスはタクシー会社へ運行委託している。市は、定期的ではないが利用者数調査を行い、路線と便数の見直しを行っている。バスの便数の不足などで不満を持っている地域もあるが、市民の理解を得るには時間がかかることもある。バス運行時刻表の見直しも含め、注視していく必要があると考える。
3	少子化問題は、栗原市のみならず深刻な問題であり、その対策について、各議員にも提案型で市と真剣に考えて欲しい。保育所の受入れ等、子どもが生まれた後の対応は色々行われているが、大切なのは結婚対策であるので、皆さんにも提案型で考えて欲しい。	各議員の一般質問等でも、結婚対策の必要性についてはこれまでも意見があった。市長も出会いの場づくりや婚活サポーターの任命などに取り組み、交際に発展しているケースもあるようだ。少子化対策に結びつけるには難しいのは事実であるが、努力をしている。また、一番の問題は、若者に地域に残ってもらうことである。そのため企業誘致も進めており、働く場所の確保と合わせ、労働条件を向上させる仕組みづくりも必要かと思う。
4	人口減解消の手立てとして、定住促進や雇用確保が重要と考える。	市では、築館インター工業団地と若柳金成インター工業団地の2つの工業団地を造成した。築館インター工業団地は、すでに工場が建設中であり、若柳金成インター工業団地では、自動車部品を製造する企業1社との土地売買契約議案を議決した。ほかにも現在交渉中の案件があるようだ。市としても企業誘致に懸命に取り組んでいる。
5	市内には公共施設が922あるという説明であるが、この中には地区集会所も入っているか。また、40世帯で集会所を維持管理していたが、現在では20数軒で管理している。年金生活者が多く、維持管理が困難であるので、助成して欲しい。	集会所は市所有や地区所有など所有形態が違っているため、修繕や維持管理についても所有形態によって異なる場合がある。
6	教育センターも保健推進室も一迫地区に設置されているが、どちらかの施設を花山地区に設置し、地域住民の要望を吸い上げる体制を確立し、公平・公正なまちづくりをするべきではないか。	小さな拠点づくり事業をはじめ、議会としても過疎地域に光があたる政策となるよう注視していく。また、住民自治のあり方を研究し、周辺部が寂れていかないよう議会の中で十分に協議・検討していく。

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：産業建設常任委員会所管 28件

1 産業経済部関係 23件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	栗原の基幹産業は農業であるが、単に産出することだけではなく、農業の維持管理の最重要点に環境保全ということが含まれていると思うが、議会で何か進めている点は何か。 農業は生産だけではなく、国土の維持に重要な役割を果たしていることを議会からもっとアピールしてほしい。	今回の調査では、環境保全まで踏み込んでいないが、今後機会があれば環境に対する調査も行っていきたい。(今回はそこまで至っていない。)
2	担い手の確保とあるが、農業に関する補助金を受けるのは40歳以下である。私が40歳の時に、(当時)築館町役場にいつて補助金を使いたいと相談したら、これは税金だからあなたは使えないと言われて農業は断念し、一般のサラリーマンとなった。今も様々な補助金があるが、申請しても全く使えないということである。本当に使いたい農家が使えずに、関係ない方々が使う制度になっている。	意見として、市当局に伝える。
3	6次産業と関係あるかもしれないが一迫地区では一生懸命やっているようだ。その点、若柳はコメだけの感じだが？	若柳はコメだけでなく牛(畜産)も行われている。6次産業化は、加工まで行って利益をあげていこうということで進めている。
4	築館インター工業団地と若柳金成インター工業団地の企業誘致状況はどうか。 栗原市は殺人事件が多いように感じられるが？ また、市としての地方創生事業はなにか。	築館インター工業団地に1社、若柳金成インター工業団地にも1社の企業を誘致した。また、まだ発表されていないが明るい見通しのようだ。 殺人事件については、栗駒と花山地区に偶然に集中したものだと思う。 地方創生事業については、国に申請したが、却下され実現しなかった。
5	水田の耕作について、土地改良区や地区の高齢者等から、年々依頼される件数が多くなった。しかし、水路が崩れ、U字溝もずれている箇所が多くなった。現地を案内するので、見てほしい。	市役所の担当部局に伝える。
6	猟友会の支部長と有害鳥獣駆除隊の隊長を務めているが、今年度の市の予算で、ワナ購入費が50万円計上されたとのことであるが、ワナ1基が10万円位であり、この予算では全く足りない。倍の100万円は必要と考えるので、後日、陳情したいと考えている。 猟友会では、そんなに箱ワナを所持していない	市議会9月定例会の一般質問で、被害者からクマの捕獲要請があった場合、許可権限者である宮城県と市・駆除隊で現地を調査し、箱ワナの設置の判断をする。箱ワナは、クマ用が市で2基、猟友会で22基、イノシシ用は両方で9基所持し、今年度の予算でイノシシ用の箱ワナを購入すると、市長が報告している。 箱ワナの所有については、もう一度確認する。
7	以前から栗原市では、し尿処理場から出た堆肥や堆肥センターで生産した堆肥を市民提供しているが、今、抗生物質も効かない耐性菌が問題になっている。放射能と同様に土壌が汚染されては、安心・安全な食料はできない。十分注意して進めていただきたい。	衛生センターでは処理した汚泥を検査して提供している。水などはオゾン処理して伊豆沼に放流している。畜産堆肥は家畜に抗生物質を使っていることはあると思うが、堆肥センターでは耐性菌の検査などは行っていないと思う。

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：産業建設常任委員会所管 28件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
8	<p>栗原市の農業ビジョンは、栗原市と再生共と一体となった農業ビジョンであって市独自のものではない。是非、栗原市の農林業振興計画を作成してほしい。</p> <p>農地中間管理機構は非常に人気がない。それは農地の維持管理が3年先、5年先には非常に困難になっているから農地の受委託が進まない。また、飼料用米を多収のものに切り替えるとどのような問題があるか、どのような施設が必要か精査をして、具体的な計画をお願いしたい。</p>	<p>多収の飼料米などは今の施設では難しいので、専用のカントリーが必要だということは議会の中でも出ている。</p> <p>具体的な政策をもう少しということだと思うが、新たな政策ということで農協の方と協議を進めていかなければならないと思っている。</p>
9	<p>旧町村単位で建てた遺跡の看板、観光案内場など倒れる寸前だ。他市町村から来た方からは、市が誕生して10年にもなるのに「何だ」と思われる。市のレベルを示すのは文化だ。調査の新しいものに替えてはどうか。</p>	<p>史跡等の看板を直す計画はないと思う。参考にさせていただく。</p> <p>看板はジオパークのビューポイントでは、どちらに行ったらいいかわからない所もある。整備のしかたは課題として残っている。</p> <p>議会で看板の件を質問したことがある。答弁では、今後部を超えたチームをつかって調査を行うとしている。更新をするのかなどはもう少し待つてほしい。</p>
10	<p>地域資源の活用では、栗原市にはラムサール条約で守られている地域が2か所ある。栗原市ではこうしたものを産業振興や観光に生かしていないのではないか。逆に邪魔者扱いになっているのではないか。是非活用するようにしてほしい。</p>	<p>提言として受け止めさせていただく。</p>
11	<p>オリンピックがあるが、この中で使われる食材、木材は特定の認証がなければ使えないということがある。総合的に栗原市の振興としてどのような方向性があるのか。</p> <p>たとえば、FSCという森林認証がある。認証があれば世界中どこにでも売れる。南三陸町や金山町などが認証を受けている。こうした認証を受ければビジネスチャンスがあるのではないか。</p> <p>県の方からも森林認証を栗原市で受けたらどうかと話があったはずだ。こうした方向に行っていたきたい。</p>	<p>(意見のため、回答なし。)</p>
12	<p>農業について、今まで国からおりてきた米の数量配分が、平成30年から各県単位ということになる。今も栗原管内では、飼料用米をつくっているが、ひとめぼれを採用している。</p> <p>しかし、農家側は専用品種を求めているが、JAでは取り入れてくれない現状がある。産業建設常任委員会の報告の文言には、早急に農家収入の増加を図る取り組みが求められると書かれているが、市ではどのような考えをもっているのか。</p>	<p>飼料用米は、他の品種を入れると、カントリーエレベーターで混ざってしまうため、JAではひとめぼれで対応している。専用のカントリーエレベーターを設ければ、他品種も取り入れることができると考えられることから、このカントリーエレベーターが一番の課題になっている。県外では他品種を取り入れているところもあるようだ。</p> <p>カントリーエレベーターの問題や飼料用米の取り組みについては、産業建設常任委員会においても、JAの理事と話し合ったことがある。確かに今の栗原の飼料用米の取り組みでは農家が大変だと思う。いろいろな補助制度を取り入れた中で、最大の補助を使うよう、いくらかでも多くいただけるような取り組みをお互いに研究していくべきだと思う。平成30年以降も生産調整の取り組みは必要になってくるのではないかとと思われる。</p>

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：産業建設常任委員会所管 28件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
13	飼料用米のカントリーエレベーターについて、大崎市や加美町などのように、なぜ市とJAが連携して行うことができないのか。JAの計画性が無く、対応できないからということだけでいいのか。栗原の農業を衰退させてはならないと思う。JAも農政問題に対して真剣に取り組んでいる。	カントリーエレベーターについては、JAの理事会との意見交換でも言っているし、減反廃止になると飼料米の作付けも増えると思われる。
14	昨年の「関東・東北豪雨」により堤防が決壊するなどの災害を受けたが、二迫川の堆積物撤去や堤防のかさ上げが必要と考えるがどうか。	9月8日、堤防の決壊などお被害を受けた二迫川流域の6人の行政区長が県庁で知事に要望書を提出した。平成28年1月に県が策定した「災害に強い川づくり緊急対策事業」に基づき、計画的に河川工事が行われる見込みである。
15	大震災後、地盤沈下により用水路に段差が生じた。地権者は誰に言えば良いのか。自分で20数万円かけて整備した。土地改良区に連絡したところ、市であると言われた。	震災後、水路などの被害は現地調査を行い、補助制度があったと記憶している。震災直後でも申請をすれば助成を受けられたものと考えられる。農道の側溝なのか、U字溝なのか現時点で明確でない。また、どこの総合支所に連絡されたのか、調査したい。
16	山菜などの放射性物質濃度については、サンプルをしっかりと測定している。市内外への情報提供を徹底し、風評被害対策を行ってほしい。	市の広報などで情報をお伝えしている。
17	中山間地では、耕作放棄地が増えている。中山間地の基盤整備を進めて欲しい。	いただいた意見を、国や県に伝える機会を設けてもらうように、関係常任委員会で協議する。
18	農地集積バンク（農地中間管理事業）は受け手がいないと利用できない。（アドバイスもない。）	（意見のため回答なし）
19	クマの出没情報が頻発しており、イノシシによる農作物被害も懸念される。くくりわなの購入にも金がかかるため、市からの補助金の導入や、市がわなを購入し、免許所持者への貸し出し（リース）などの事業展開を望む。そのことによって、被害を減らすことになるのではないか。	栗駒地区の議会報告会でも、予算増額の要望があった。議会としても、市当局に話をしていく。
20	市は農家が半数を占めており、この時期は農業資材の申し込みが多くなる。来年度の転作面積や方向性など情報を議会だよりや広報くりはらを通じ、早く発信して欲しい。（要望）	（要望のため答弁なし）
21	金成や築館には工業団地ができ、若者や子どもの増加を期待するが、工業団地の現状を伺う。	現在、築館の工業団地で工場が建設中であり、その他の分譲地も売れている。まだ発表できない内容もある。
22	放射能問題に関する農作物の風評被害の影響が心配である。市内の道路沿いの田んぼにはラッピングロールが目立つが、汚染物質であるならば、観光客などへのイメージが悪くなる。対応が必要ではないか。	道路から見える田んぼのロールは、汚染牧草ではなく、牛の飼料にする目的でラッピングし、置いているものである。汚染された稲わらは、市内5ヶ所に集約して保管されている。
23	以前は、自然の家に入所する子ども達は、総合支所から御駒山登山道に通じる林道（遊歩道）を歩いて御駒山に登っていた。子ども達の声が多く聞こえ、活気があったが、最近は聞こえなくなった。総合支所から御駒山に通じる遊歩道を早期に復旧して欲しい。	遊歩道の一部が民有地であり、土地の所有者との関係があるようだ。現状を改めて調査する。

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：産業建設常任委員会所管 28件

2 建設部関係 5件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	15年前埼玉から越してきた。鶴町線の道幅が狭い。何とかしてほしいと町や区長に訴えてきたがいまだに変わらない。緊急車両も入れない。私の土地を無償提供してもいいから拡幅してもらいたい。	要望が出されたものは議会としてまとめ、議長名で文書として当局に提出する様にしている。今日は支所長も来ているので、聞いてもらっている。
2	合併時に持ち込まれた道路や用排水路の事業たくさんある。議員や職員回って見て、必要のないものは見直してはどうか。そうでないと、新たに要求したものが山積みになって、なかなか事業が進まない。	要望としてうけたまわる。
3	生活道路の整備を要望しても規則により3軒以上がないと駄目と言われる。舗装されれば雪かきが楽になるので、2軒でも整備して欲しい。	若柳地区では、地域のことは区長を通して要望している。区長名で総合支所へ要望してはどうか。
4	志波姫地区は住宅が増えている。くりこま高原駅周辺の道路整備を都市計画のなかで進めて欲しい。	来年2月に都市計画ができる。駅周辺も計画に入っていることから、方向性が示されるものと認識している。
5	1 二迫川と鉛川の合流付近の二迫川の河川内に私有地があり、樹木の伐採が進んでいない。堤防決壊の要因と考えられることから、伐採できないか。 2 河川内の私有地の樹木を伐採しないと堤防の決壊のおそれがある。個人の財産や人命を守るため、何とかして欲しい。今後の豪雨災害も心配だ。	1 旧町時代からの問題であるが、所有者が亡くなっていることから登記ができにくい状況のようである。県と協議しながら進めていくしかないと思われる。 2 私有地のため樹木の伐採ができず、支障があり、堤防の決壊のおそれがあるようだが、豊里では民家が建っている例もある。産業建設常任委員会の調査対象とすることも検討する必要があるようだ。持ち帰って県に検討を要請するよう当局へ伝える。二迫川の河川整備は、築館の沖富、富地区で行われている。産業建設常任委員会で調査しながら県に要請していく。

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：文教民生常任委員会所管 22件

1 市民生活部関係 6件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	伊豆沼・内沼の水質浄化活動を県がつくった財団が行っている。刈り取った草は沼周辺から排出しなければ本当の浄化にならないのだが、現状は沼の中においでいる。全く浄化になっておらず提言をしたが、却下された。改善を求めたい。	関連する課に伝えたい。
2	メンタルヘルスサポーター講習は1回目より2回目よりレベルアップするような講習にしてほしい。今のままでは自殺率は減らないと思う。小規模の市であればすれだけ手当できることもあるはずですから、議員はいろいろな発想力・想像力を出して行政に斬新なアイデアを出してほしい。	(要望のため、答弁なし。)
3	90歳位の一人暮らしの高齢者の自宅への進入路について、市では除雪をしてくれない。道路から近いので、もう少し親切にしてはどうか。	要望事項として、うけたまわる。
4	今年から、敬老会の経費が1人当たり2,600円に増額された。しかし、私の自治会も、また、聞くところでは他の自治会でも、昨年並みの経費で敬老会事業を行っている。他の多くの自治会での実態はどうなのか、補助金をきっちり使用しているのか、市でしっかりと確認すべきだ。補助金を余している場合が多いと思う。	市の担当部局に、しっかりと伝える。
5	各地区に児童館がない。志波姫と高清水にあったが、廃止すると聞いた。小さな子どもを持つ若い母親はどこで子どもを遊ばせるのか。(要望意見として)市内に1箇所でも児童館を設置してほしい。	これまでも多くの議員が児童館の要望を行ってきた。今回の条例廃止は児童館が必要ないとの意味での廃止ではなく、あくまでも施設の老朽化に伴う建物の解体、廃止である。 9月議会で、児童館条例の廃止が決まった。市当局は、放課後児童クラブ事業と子育て支援センターでカバー出来るとしている。
6	地区に待機児童は何人いるのか。	志波姫地区内に待機児童は5名いる。市内全域では10数名いると記憶している。

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：文教民生常任委員会所管 22件

2 教育部関係 8件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	<p>築館横須賀B&Gの艇庫は7月末から8月末の1ヶ月間しか使えない。教育委員会が管理しているようだが、改善してほしい。</p> <p>築館横須賀には、B&Gの艇庫があるが、7月末から8月末の1ヶ月間しか使えない。教育委員会が管理しているようだが、改善してほしい。</p> <p>船を艇庫から移動するクレーンは全く使用できない状況であり、教育委員会の管理がずさんである。</p>	<p>艇庫について一般質問を行ったが、指導員が不足しているとのこと。また、ハスまつりの期間に見に行ったが、安全性を考慮し、1艘だけ出して、端のほうで子ども達が遊んでいる状況であった。教育委員会の答弁では、ボートを移動するクレーンの整備なども含め検討していくとのことだったが、これからも市に対して要望していきたい。</p>
2	<p>学校統廃合により出た閉校施設の有効利用を考えてほしい。体育館や校舎を屋内ゲートボール場にできないか。</p>	<p>3年間は地域の皆さんに活用のあり方を検討して頂き、地域で活用しない場合は、市での活用または売却することになる。</p>
3	<p>ドリームパル西隣の空き地を若柳ゲートボール協会で利用させていただいているが、一雨降るとコートがぬかるんで困っている。暗渠処理など水はけがよくなるよう対処してほしい。</p>	<p>要望はしっかりと受け止めて、その対応をするよう市当局に要請する。</p>
4	<p>原市は75歳以上の自殺率が一番多い。また母親のアルコール依存症や片親が多く、子どもたちに影響を与えている。ゆとりを持った素晴らしい環境のなかで子どもたちを育てていきたいと思うのでよろしくお願ひしたい。</p> <p>幼稚園の先生方は非正規の方も忙しく働いているので、実際に現場を見てほしい。</p>	<p>文教民生常任委員長と相談し、対応したい。よしの幼稚園は狭く窮屈に感じるので、必要であれば市当局に要望してほしい。そうすれば議会としてもバックアップできる。</p>
5	<p>旧文字小学校の校庭と体育館の、現在の姿を見てほしい。水道の水が出ない、体育館の屋根は漏水する。正規の施設として対応してほしい。</p> <p>旧文字小学校体育館は、健診などで利用されている。水道水がよく出なくて苦慮している。社会教育施設として対応してほしい。</p>	<p>当委員会の調査は社会教育施設の体育館などであり、旧学校施設は調査していない。社会教育施設としての対応については要望として、うけたまわる。</p>
6	<p>総合支所は立派になっているが、鶯沢公民館は老朽化が進んでいる。改修の予定はあるか。</p>	<p>鶯沢と細倉の両公民館をどちらも残すことは難しいと思われる。改修については要請していく。</p>
7	<p>東京オリンピックボート競技について、登米市長沼ボート場への誘致活動を、登米市、大崎市、一関市等と連携して議会としても積極的に行うべきである。</p> <p>例えば、畑岡小や大目小あたりに宿泊施設を作ってはどうか。議会の考えはどうか。</p> <p>市民のうねりが必要ではないのか。</p>	<p>先日、登米市、大崎市、一関市と一緒に誘致のため県知事へ要請活動を行ってきた。議会全体としてはやっていない。</p>
8	<p>子どもたちに良好な教育環境を提供するよう望む。(金成小中学校は25mプールが一つしかなく、保健室も一つしかない。教室に入れない中学生が使用している場合は小学生が使用できない。)</p>	<p>要望として承る。市が行う市政懇談会などでも直接お話しいただきたい。</p>

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：文教民生常任委員会所管 22件

3 医療局関係 8件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	<p>県立瀬峰病院の移管について、結論はまだ出ていないというが、県の説明では、平成31年度までの移管のスケジュールが決まっているとのこであるが。</p>	<p>県の医療局の考え方であり、栗原市がそれを了承したものではない。</p>
2	<p>県立循環器・呼吸器病センターは、当時旧瀬峰町が2桁の人数の地権者から買収して県に寄付をしているものである。結核は感染症なので、迷惑施設であり、どこも受け手がなかったが、当時の県知事から頼まれ、財政が貧弱であった旧瀬峰町があえて町の将来のことも考えて受入、昭和27年に発足した。</p> <p>県職員もこの経緯は分かっておらず、1回目の県の説明会では皆が大反対であった。先日目の2回目の説明会では、もう仕方がないという感じであったが、市もこれからははいえ、もうほぼ決まっていることと思う。県の説明会ではこの感染症棟の受け入れ先である築館で説明会を行ったかという質問であったが、まだ行っていないという。受入先の了解を得てからこちらに説明をすべきで、順番が逆ではないか。噂では、築館宮野地区ではこのような感染症棟はいらないという話も聞いている。</p> <p>県の回答では、市か県のどちらが築館で説明会を開くのか市と協議していきたいということであった。</p>	<p>この件に関しては、我々も受け止め、各議員へ報告しておきたい。</p>
3	<p>県立瀬峰病院の移管はどうなっているか。</p>	<p>議会は県の方針を聞いただけであるが、瀬峰地区では2回ほど県による住民説明会が行われたようである。場所もまだ決まっていない。近いうちに議会に対しても説明があると思われる。もうしばらくお待ちいただきたい。</p>
4	<p>地域医療について、栗原中央病院は、良い噂を聞かない。救急時の受入れも断られることが多い。栗原中央病院で診てもらえないようにならないか。(磐井病院や大崎市民病院に転送される。) 診てもらえない科目を明確にして欲しい。</p>	<p>病状と当直医の専門により、受入れできない場合がある。また、患者のかかりつけ医などによっても搬送先が変わる場合がある。さらに、2次・3次医療圏の枠組みなどの理由によっても搬送先に違いが出る。こういう意見があったことを病院の方にも伝えたい。</p> <p>議員にも、たびたび病院スタッフの対応や接遇の問題について意見をいただいている。</p>
5	<p>病院事業の収益について、黒字になっているのか。</p> <p>瀬峰循環器・呼吸器病センターは、県において栗原中央病院に機能移管される方向が示されている。移管される場合、市の費用負担も考えられるが、対応はどのような方針であるか。</p>	<p>3病院合わせて約5億円の赤字となっているが、この中には減価償却費などを含むものである。</p> <p>市長の答弁では、移管に要する一切の費用は県が負担すべきものとされている。市長も県の動向を見守っている状況である。</p>
6	<p>家族がかかりつけ医から栗原中央病院入院時に誤診と考えられる事案があった。栗原中央病院入院・加療2週間後に大崎市民病院へ転院した。(2週間の入院は無駄になった。) 医師の診断能力に問題があるのではないか。栗原中央病院は、市民の命を守るところなので、医師・看護師の頭数を揃えるだけでなく、有能なスタッフの確保も望む。</p>	<p>病院スタッフの能力や誤診については、議員としてお話しできる立場にないことから、細部についてのコメントは差し控えさせていただく。</p>

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：文教民生常任委員会所管 22件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
7	<p>国保税が毎年上がっている。市の病院収益が76億円とあるが、本当にこのような収益があるのか。</p> <p>国保税率に資産割が入っているが、他市に比べて税率が高いと考える。固定資産税を払った他に、また取られ、2重取りされているようだ。</p> <p>病院の現状としては、医師が不足し、看護師が充足しているということか。</p>	<p>減価償却費などを含めると実際は赤字である。医師も不足し、患者数が減っている現状だ。以前の看護師の基準では、入院患者10人に対し看護師1人の基準であったが、現在は入院患者7人に対し看護師1人となっているが、それで今の入院患者数を受入れてきているが、医師数は基準を満たしていないという認識である。</p>
8	<p>栗原中央病院が開設された当時は人工透析機が設置されていた。しかし、現在では医師の不在などにより診療が行われていない。市内で透析が行われているのは1病院のみであるが、全国の透析予約システム？から外れたと聞く。</p> <p>他県から本市を訪れた透析患者は不便を強いられているようだが、実態を把握しているか。</p>	<p>文教民生常任委員会の中で調査課題としたい。なお、栗原中央病院の透析機器は、すでに売却しており、現在はない。</p>

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：指定廃棄物最終処分等に関する調査特別委員会 10件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	指定廃棄物の最終処分場について、栗原市への建設については、断固、市や議会も反対して頑張っ てほしい。	議会や市としても、徹底的に反対する考えである が、今後は、11月3日開催の知事招集の宮城県内市 町村長会議の状況を踏まえ対応したい。
2	汚染牧草の減容化の実験費用は、どこで負担する のか。 汚染牧草の処理は、焼却がいいのか、減容化がい いいのか、議会は市民の立場で判断されたい。	費用は、後でまとめて東京電力へ請求するようにな ると思う。特別委員会としても、駄目なものは駄目 と言っていきたい。
3	指定廃棄物8,000ベクレル以下は燃やしていいとい うのはだれが考えてもおかしい。 市はなぜ8,000ベクレル以上の廃棄物を申請しな かったのか。再測定して8,000ベクレル以下です から燃やしてもいいです。と言われかねない。議会 で追及して いただきたい。 民間でも勉強会がある。11月12日原子力市民委員 会をよんで意見交換会があるので参加して原子力 行政のかかわりなども参考にさせていただければと 思う。 大川小学校の判決が出た。被害が予見できたかが 裁判の争点だが、放射能の問題も冷静に考えれば 予見できたことだ。 最終処分場が深山岳に指定されそうだという時 に、議会で意見書が否決された。もっと議会在拒 否条例などに関しても積極的に取り組んでもらえ れば後手に回らない。 今は環境省や県がやるのを待っている感じだ。	なぜ指定申請しなかったのかについては、一般質問 でもされている。指定されようとされまいと、 8,000ベクレル以下であってもキッチンと東電で責任 を持って処理すべきだという市長の思いがあった。 また、登米市は指定申請してされた。そうすると管 理責任は市町村になる。栗原市は指定しなかったこ とにより、県が管理責任を持つことになる。11月3 日の市町村長会議内容を11月8日の特別委員会で報 告がある。 今後は特別委員会でしっかり協議していきたい。 条例の話も出たが議会では様々な議論があるが、汚 染稲わらを保管している地域もある。現実問題とし てこれらをどうするのか、ということもあった。議 会としてすぐに手をうてなかったことも事実だ。今 後も特別委員会で議論していきたい。 最終処分場を栗原市に作らせないということは、議 会としても意思統一している事だ。
4	9ページの汚染牧草の減容化はどういうものか。調 査した感想はどうか。	減容化は、当初は10分の1になるのかと思っただ が、確かに汚染牧草は10分の1になったが堆肥は9倍に なっている。しかし放射能は3000ベクレルのものが 268ベクレルに下がっている。全体量を見た場合減 容化にはなっていないのではないと思う。堆肥化し たものをどう処理するか出口が見えないので、市で も本格操業には至っていない。 特別委員会でこのような説明を受けたが、良い悪い の結論は出していない。特別委員会としての結論は これからまとめていきたい。
5	放射能の影響と耐性菌も共通することだ。安全基 準に安住して従っていただけでは、後で出た問題 に手遅れになってしまう。環境省の数字とか基準 を待つだけではなく、現実には被害を受けている栗 原として市民に安全をどのように守るか、積極的 な対応をお願いしたい。	意見としてうけたまわる。
6	放射性物質抑制剤として毎年無償配布される塩化 カリウムの資材費は市が東京電力に請求されるも のと思われるが、散布の手間賃については、どう 考えているのか	正式に要求はしているはずだが、東京電力や国から 認めるという回答は、来ていない。

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：指定廃棄物最終処分等に関する調査特別委員会 10件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
7	放射性廃棄物の減容化実証実験については、国において行うべきものであり、市が税金を使って行うものではない。量を増やせば放射能の濃度が低下することは当然であり、無駄と考える。焼却して量を減らし、高濃度の焼却灰は、国が管理する適切な施設で保管すべきだ。山野の除染もして欲しい。	議会としても、全てよしとしているわけではない。現在、特別委員会として調査を行っている。国が動かない中で、放射能で苦しんでいる方々を知っており、市としてただ手をこまねている訳にはいかないとの思いで行っている実験である。11月3日の市町村長会議を受けての特別委員会を予定している。
8	環境省が勝手に3市町を最終処分場候補地に決めた。県内の3市町は反対していることから、国がゼロベースに戻し、指定廃棄物最終処分場の建設場所を早く決めるよう、訴えて欲しい。	考えは同じである。国と東京電力には、早く方向性を示して欲しいと考える。
9	11月3日、県は市町村長会議を開催するが、焼却処分は認められない。汚染牧草の減容化実証実験の報告もあるが、焼却は煙に放射能が混じっているか否かの証明・確認ができない。焼却灰の処分方法が示されないなかで、焼却は駄目と訴えて欲しい。 下水道工事で出た汚泥を薄めて使用する噂もあるようだが、市で行っている減容化実験による堆肥を散布し、農作物を育てる実験は中止すべきだ。	下水道工事で発生した汚泥は、検査し、名取市の施設へ運搬している。排水溝などを清掃した際にでた汚泥のことと思われる。 市が行う減容化実証実験は、実験中であり、結果がまだ出ていない。 放射能汚染物質の保管問題は、市長も心配し、保管する汚染牧草を早くなくしたいとの思いから実証実験に着手した。議会としても注視していきたい。
10	市は減容化実証実験を行っているが、濃度を低くしても量が増える。堆肥化のうえ圃場に散布したのでは、風評被害は増加すると考える。汚染物質を保管している立場の我々は、堆肥化ではなく、他市のように焼却処分して、高濃度になっても量を減らし、しかるべき施設で国の責任において保管すべきではないか。	8,000ベクレル以下の汚染牧草の減容化に向け、現在は実験の段階である。 また、植物への移行も実験中である。議会の特別委員会としても詳細に調査を行い、結果や影響を精査していく。

※本報告書において下表のとおり表記しております。	
正式名称	本報告書における略称
指定廃棄物の最終処分場等に係る市町村長会議	市町村長会議
栗原市議会指定廃棄物の最終処分等に関する調査特別委員会	特別委員会

平成28年度栗原市議会議会報告会における意見・要望事項

分類：(仮称)栗原市スポーツパーク計画に関する調査特別委員会 5件

No.	意見・要望事項等要旨	回答要旨
1	<p>スポーツパーク計画のアンケート調査結果について、発表の仕方に不快感をもった。自分の周りではほとんど賛成する人はいなかった。それなのにあの結果を堂々と新聞にのせており、議会としても何とも思わなかったのか。議員は市民第一の目線で活動しているはずなので、皆に分かる報告をしてほしかった。あのようなわけのわからないアンケートの仕方は今後しないように、議会として対応してほしい。</p>	<p>(要望のため回答なし)</p>
2	<p>スポーツパーク構想についてアンケートを行ったが、疑問である。どういう案件に対してなら市民のアンケートをとるのか。アンケートをとって決めるというのはおかしいことで、我々の代表である議会で決めるべきであり、そういうことは止めさせるべきだ。議会を軽視するどころか無視している。なぜ議会は反発しなかったか。</p>	<p>詳細な提示がなく予算だけが出てきて、議会の中では反対の動きもあった。何人かから修正案を出して、それが否決され、案が可決になったという経緯がある。 議員はそれぞれ会派や考え方も違うので、結果的にそうなったが、議会の中では反対の動きもあったのは事実である。</p>
3	<p>スポーツパーク計画を断念した理由がよくわからない。その後何らかの動きはないのか。</p>	<p>大きな理由は、アンケート調査結果で概ね10ポイントほど反対が多かったため、完全に撤退ということになった。現在、平成29年度以降の総合計画を策定中で、その中にその部分が生かされるかどうかということになる。 この計画は今年度末までに公表される。</p>
4	<p>市のスポーツパーク計画が取りやめになったが、この間、どのくらいの費用がかかったのか。市民6,500人へのアンケート調査の結果で取りやめたようだが、既に費用がかかっている。先にアンケート調査や十分な議論を重ねてから、進めるべきではなかったか。 当初の2千万円の予算だけではなく、他にも関連で職員の人件費等がかかっているはずである。側聞するに、市長はこの構想をまだあきらめていないと聞く。今後の費用と投資のあり方について、よく検討してほしい。</p>	<p>市から具体的な説明がなく、予算措置は2千万円だった。反対の議員から、予算の修正動議が提出され議論したが、最終的に市の原案通りに可決された。そこで、議会では特別委員会を設置し、調査活動を行ってきた。また、かかった費用は、基本構想策定業務委託料518万4千円である。 今後の費用と投資のあり方については、要望事項としてうけたまわる。</p>
5	<p>スポーツパーク計画について、市長が断念し、特別委員会もその意向を受けたというが、議員の一般質問に対する市長の答弁が食い違っており、疑問に感じる。もう一度丁寧に進め直し、必要といえる状況を考えていると市長は答弁している。 スポーツパークのアンケートについて30代、40代の回答の中で運動どころじゃなく生活が苦しいとの意見があった。</p>	<p>年代別にアンケートをとっており、その結果として若い人たちからある程度の理解を示されたという観点から、何かの機会に若い人たちの声を活用していきたいという内容である。</p>